

## 園長検定、始めます。

(正式名称:保育施設運営管理士検定)

### 不適切保育・ハラスメントを防止し、保育施設 施設長のマネジメントスキルを証明する検定

一般社団法人 未来創造連携機構 これからの保育研究所(所在地:神奈川県川崎市、代表理事 齊藤 和琴)は、保育施設運営管理士検定(通称:園長検定)をリリースしました。

#### 本検定の目的

- 運営の適正化により、**不適切保育・ハラスメントを防止**
- 保育施設の園長・管理職の能力の向上および能力の見える化
- 働きやすい職場づくりのプロを育成し、職員の離職を低減させる
- 職員が育つ環境をつくり、保育の質の向上を図る
- **特別な資格がなく、誰でも園長になれるともいえる現状から、保育園運営のプロが園長を担っているという業界イメージへと世間の認識を変革し、保育・幼児教育の仕事の価値を高める。**

10月10日(木)より検定受験・対策講座受講の受付を開始いたします。

【検定試験URL】<https://hoiku-lab.com/certification/>

検定および対策講座についての説明会を開催します。

- ①2024年10月22日(火)14:00-16:00 \*オンライン(Zoom)
- ②2024年11月 1日(金)17:00-18:00 \*オンライン(Zoom)



#### 背景

- ・ 不適切保育やハラスメント、様々な不正が横行する保育業界。最近では、そのような園を避けるための知恵として「保育園選びは園長選び」と言われてきています。しかし、選ぶために必要なポイントである人材マネジメントスキルや業務改善スキル、組織運営スキルを客観的に証明することは大変難しいことでした。
- ・ OECDにおいても【実施運営の質:地域や現場ニーズへの対応、質の向上、効果的なチーム作りなどのための園やクラス運営・管理】という、まさにマネジメント・組織運営のスキルが保育の質として整理されています。
- ・ 保育施設の園長や管理職のマネジメント・組織運営のスキルを見える化することは、保育の質の担保、保育士等の人材不足の解消のために喫緊の課題となっています。

以上のことから、マネジメントおよび組織運営の専門家と、福祉マネジメントの専門家がタッグを組み、保育園の適正運営を推進するべく検定試験を開発しました。

#### 検定試験の概要

- ・ 保育施設運営管理士検定(通称:園長検定) 1級
- ・ 検定日時 2025年1月26日(日)14:00-16:00
- ・ 対象 保育施設・幼児教育施設の施設長/管理職/主任
- ・ 受検料 10,000円(税別)
- ・ 対策講座 受講料:60,000円(税別)/テキスト代・受検料込み



【報道関係者様からのお問合せ先】

一般社団法人 未来創造連携機構 これからの保育研究所  
代表理事:齊藤 和琴

TEL:080-5534-0365 MAIL:w.saito@hoiku-lab.com  
<https://hoiku-lab.com>